

世界史B 近現代 1,19世紀のヨーロッパ・アメリカ世界(1)ウィーン体制

- 概観
- ㄱ()1勢力と革新勢力の対抗
 - ㄷ近代社会に固有の労働問題や社会主義運動の発生
 - ㄹ「新大陸」ではラテンアメリカ諸国の()2と合衆国の領土発展・南北戦争
 - ㄴ19世紀の欧米諸国は近代化=自由主義と国民主義=の完成をめざす

1,ウィーン体制=反動的・復古的な風潮が強まる

1814年 ウィーン会議 「[]3は踊る, されど進まず」)❖a
 奥の外相[]4❖b(1773~1859)が主宰、フランス代表()5❖c=ペリゴール(1754~1838)外相の主張する()6主義を基調とし、列強の勢力均衡を計り1815年に妥結。
 ❖a---オーストリアのリーニユ公の言葉。敗戦国フランスは発言権のないオブザーバー参加だったが舞踏会、晩餐会で中小国を取り込む。プロイセンとロシアはナポレオン側についたザクセン公国とワルシャワ公国の併合を秘密裏に約していたが、オーストリア、イギリスを加えた戦勝4ヶ国間の対立もあり、会議はフランスに有利に展開した。
 ❖b---1806年オーストリア大使としてパリへ。1809年オーストリア外相。()7の婚姻を仲介。1821年オーストリア宰相。各国の自由主義、ナショナリズムを抑圧。1848年()8革命でイギリスへ亡命。
 ❖c---名門貴族の長男。1789年三部会の第一身分議員(司祭)。革命に参加し教会財産の()9化を推進しローマ教会から破門。1790年国民議会議長。[]10法提案者。1792年イギリスへ亡命。1796年帰国、総裁政府外相。1799年ブリュメール18日に参画し()11時代も外相・侍従長。ナポレオンの大陸政策に反対してその失脚を図り、1814年ナポレオン失脚後臨時政府代表。ルイ18世復位後も外務大臣に就任。
 「私が人生において策略を用いたとすれば、それはフランス人が共犯であったときに限られる」の言葉。

1815年 ()12議定書調印⇒「ウィーン体制」成立
 正統主義---革命前の主権と()13を正統とみなし、その維持をはかる。

- ㄱ()14---ルイ18世(位1814~24)復位。
 スペイン❖d、ナポリ・シチリア❖eでも()15朝復権
- ㄷ()16---1809年フィンランド❖fを領有。ポーランド❖gを奥・プロイセンと分割。フィンランド大公国大公、ポーランド立憲王国国王を皇帝が兼任。
- ㄹ()17---南ネーデルラントをオランダに渡し、かわりに北イタリア=ヴェネツィア・ロンバルディア=に領土拡大。
- ㄷ()18---ライン地方とザクセン北部に領土を拡大。
- ㄷ()19---戦時中に占領したスリランカやケープ植民地=旧オランダ領、1814年ロンドン条約=などの領有。
- ㄷ()20---プロイセン、オーストリアなど35か国と4自由市でドイツ連邦形成。
- ㄴ()21---永世中立を承認。

- ❖dスペイン---スペイン継承戦争(1701~13)後、ユトレヒト条約で仏ブルボン家のアンジュー公フィリップがフェリペ5世として即位⇒「()22ブルボン朝」
- ❖eナポリ・シチリア---中世には()23の支配=「ノルマン・シチリア王国」(1130~94)その後はシュタウフェン家、アンジュー家(アンジュー・シチリア家)の支配。1442年()24王アルフォンソ5世が王位につき、1504年同王フェルナンド2世が再征服しカスティージャ=アラゴンに併合。以後200年間スペインによる支配。1713年ユトレヒト条約によりスペインはナポリ、ミラノ、ネーデルラントを()25に、シチリアを()26家に割譲した。1720年サヴォイアはハプスブルクにシチリアを渡し、()27を得る。1735年スペイン・ブルボン家のカルロス7世(5世)即位。「両シチリア王国」1806年()28の兄ジョゼフをナポリ王(ジュゼッペ)とする。
- ❖fフィンランド---「()29人の国」自称は「スオミ」ウラル語族(東欧・北欧) B.C.3000年頃、フィン人、サーミ人の祖先が定住。1155年()30により併合。(北方十字軍)

1397年スウェーデンは()31の支配下に(カルマル同盟) 1523年スウェーデン独立。再びスウェーデンの属国に。1807年ティルジットの和約。()32のフィンランド領有を承認。1809年第二次ロシア=スウェーデン戦争⇒ロシアの支配。

❖gポーランド---西()33人のひとつ。カルパティア山脈周辺に定住。11世紀~1795年 ポーランド王国は露、奥、普により三分割。1807年~1815年 ワルシャワ公国⇒ティルジットの和約により建国。

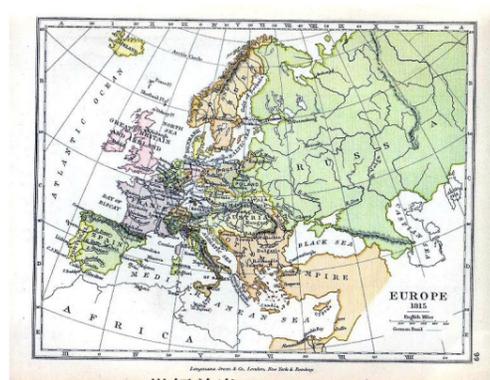
ポーランド

ウィーン会議で →①ポズナン 大公国=()34領
 ②クラクフ 共和国=()35領
 ③ポーランド立憲王国=()36領❖hに三分割。

❖h---ロシア=ポーランド戦争後1832年からはロシアが直接支配。

同年 ()37同盟 ロシア皇帝アレクサンドル1世(位1801~25)が提唱した君主同盟
 イギリス王・ローマ教皇・オスマン皇帝をのぞく諸国の君主が加入。
 ()38同盟❖i 奥・プロイセン・露・英(1818に仏)⇒ウィーン体制の維持

❖i---1818年フランスが加わり五国同盟。1820年トロップウ(チェコ)会議でナポリのカルボナリ蜂起への派兵、1822年ヴェローナ会議でスペイン立憲革命への干渉を決議したが、イギリスが反対し不参加。同盟は事実上崩壊した。



19世紀前半のヨーロッパ



ウィーン会議



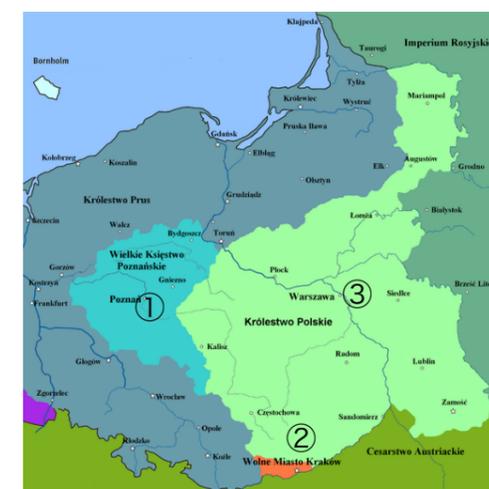
メッテルニヒ



タレーラン



イタリア(1796)



ポーランド三国

- ・反動 ・領土 ・正統 ・独立 ・三月 ・四国 ・国有 ・神聖 ・フィン ・スイス ・スラブ
- ・ロシア(3) ・ドイツ ・ウィーン ・イギリス ・フランス ・ノルマン ・アラゴン ・シチリア
- ・スペイン ・ブルボン(2) ・タレーラン ・サヴォイア ・デンマーク ・プロイセン(2)
- ・ナポレオン(3) ・スウェーデン ・オーストリア(3) ・サルデーニャ